

『同じ人間』 作：ポチ子

『同じ人間』 作：ポチ子

皆が幸せになれるような、

社会を作らなくちゃならない。

皆の個性が認められて、

自由に生きられる。

そんな社会は素晴らしい。

彼らはそう言って笑う。

さっきは顔を真っ赤にして、

あの人に怒鳴り散らかしていたけど。

あの子は、

彼らが言う皆には入らないみたい。

個性がない彼らは、

僕を個性的だと思っらしい。

個性がある彼らは、

彼らを認めない存在は、

一切許されるべきでないと思っらしい。

僕は個性的でも、普通でもない。

彼らと同じ人間で、

あの人も同じ人間である。